

2012年9月21日

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

日経産業新聞に当社の取り組みが掲載されました

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:矢嶋弘毅)は、独自に開発した媒体社向けSSP(Supply Side Platform、⁽¹⁾『YieldOne®(イールド・ワン)』)に関する特許を取得いたしました。

DACは、メディアレップ事業を主力事業としておりますが、インターネットの黎明期よりネット広告テクノロジー開発に力を注いでおり、これまでも広告取引に係る様々なサービスを提供してまいりました。

今回取得した特許は、媒体社の広告在庫販売を自動化し、収益最適化するためのプラットフォームにおいて最も基礎となるシステムの技術であり、DACがこの特許を保有できたことは、インターネット広告業界におけるDACのプレゼンスと信頼感を一層高めることにつながるものと考えております。

上記の取り組みが、以下の通り本日の日経産業新聞に掲載されました。

- (1) 媒体社(Supply Side)向けのオンライン広告取引を最適かつ自動的に行うプラットフォーム。複数のDSPやアドネットワークと接続することで、媒体社の広告余剰在庫の収益を向上する。

【掲載】

・2012年9月21日付 日経産業新聞

『DAC、特許取得 ネット広告の自動取引技術』

詳細は、当社のコーポレートサイトに掲載しておりますリリースをご参照ください。

- ・媒体社向け SSP『YieldOne®(イールド・ワン)』に関する特許を取得
リリース URL http://www.dac.co.jp/Contents/pdf/press/20120903_Y1.pdf

以 上